

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート

No. 24-2

PDCA	主要事業名	亀崎地区無電柱化等整備事業	部課名	建設部都市計画課	担当	川村
					内線	446

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 2 単位施策： 景観・公園					
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 8年度 全体事業費等： 555,000 千円					
	会計 一般会計 歳出科目： 07.05.05.02.54					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 9,500 千円					
	事業概要等	事業概要： 景観形成重点地区であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートである亀崎仲町通りの無電柱化を実施する。				
		事業目的： 景観形成重点地区として相応しい景観形成を図る。				
		事業内容： 亀崎仲町通りの無電柱化に向けた実施設計業務委託を行う。				
		問題点・課題等： 無電柱化の実施に際して地元住民の合意形成が必要。				
	予算額	主要事業とする理由				
	9,471 千円	地域が主体的にまちづくりに取り組む亀崎地区の中心である仲町通りの無電柱化により、良好な景観が形成され、さらにまちづくりが進むことが期待されるため。				
財源内訳	得られる成果					
市費 4,271 千円	景観形成重点地区であり、亀崎潮干祭（ユネスコ無形文化遺産）の山車の運行ルートでもある亀崎仲町通りの良好な景観形成が図られる。					
国費 5,200 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円	無電柱化事業の進捗率	実績値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
その他 0 千円		目標値	-	-	-	%
		実績値	-	-	1.7	%
		目標値				
		実績値				

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	9,044 千円	亀崎仲町通りの良好な景観形成を図るために行う無電柱化について、本線部分の設計を完了した。					
		成果指標			令和3年度	単位	
		無電柱化事業の進捗率	実績値	1.7	%		
		目標値	1.7	%			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 本線部分の設計については、地元協議会の協力も得る中で、電線管理者や地域住民との協議を重ね、地上機器の設置位置などを決定し、設計を進めることができた。今後は、枝線部分の設計を進めるが、地中から電線を立ち上げるための建柱位置などについても地域住民の理解を得ながら決定し、進めていく必要がある。					
	今後の事業の方向性	現状維持 令和8年度中の工事完了を目指し、計画的に事業を進める。令和4年度は、電線管理者や地域住民との協議・調整を図り、枝線部分の設計を進め、整備計画を策定する。					
A 課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ある				

評価項目（決算時に作成）